

# I 申請概要

## 1. 申請者

東日本電信電話株式会社  
代表取締役社長 高部 豊彦  
西日本電信電話株式会社  
代表取締役社長 森下 俊三

## 2. 申請年月日

平成18年6月29日(木)

## 3. 実施予定日

平成18年10月1日から実施

## 4. 概要

専用線等の保守メニューについて、従来の平日の昼間帯及び全日の全時間帯の2メニューに加え、新たに全日の昼間帯のメニューを追加するため、電気通信事業法第33条第2項の規定に基づき接続約款の変更を行う。

## Ⅱ 主な変更内容

現在、端末回線伝送機能、通信路設定伝送機能等の接続料については、営業時間内（平日・昼間帯）のみ保守（故障修理）を行うメニュー（タイプ1）と24時間（全日・全時間帯）保守を行うメニュー（タイプ2）に区分され、それぞれ接続料が設定されている。

本件は、接続事業者等からの要望を踏まえ、タイプ1の故障修理対応時間を土曜・休日の昼間帯に拡大した全日・昼間帯の保守メニューを追加するため、接続約款を変更するものである。

なお、従来のタイプ1を「タイプ1-1」とし、新たに追加するメニューは「タイプ1-2」とする。

### ○接続料の設定

タイプ1-1に全日・昼間帯の保守換算係数※（1.02）を乗じて算出。

※ 保守換算係数：保守タイプごとの平均故障修理時間の違いによる総コストの差異について、平日・昼間帯のコストを1として係数化したもの。平成16年度実績値においては、全日・昼間帯は1.02、全日全時間帯は1.06となる。（次々ページ参照。）

#### （1）端末回線伝送機能

（1回線ごと月額）

| 区分           |                    | タイプ1-2料金 |            | タイプ1-1(旧1)料金 |         |        |      |
|--------------|--------------------|----------|------------|--------------|---------|--------|------|
|              |                    | 東日本      | 西日本        | 東日本          | 西日本     |        |      |
| PHS基地局回線機能   |                    | 1,513円   | 1,547円     | 1,484円       | 1,517円  |        |      |
| 専用線端末回線伝送機能  | メタル(2線式)           | 1,197円   | 1,256円     | 1,173円       | 1,231円  |        |      |
|              | 光                  | 1芯式      | 4,695円     | 4,695円       | 4,603円  | 4,603円 |      |
|              |                    | 2芯式      | 9,390円     | 9,390円       | 9,206円  | 9,206円 |      |
| DSL接続機能      | 下記以外               | ラインシェア   | NTTスプリッタ利用 | 110円         | 93円     | 107円   | 91円  |
|              |                    | リング      | 上記以外       | 32円          | 33円     | 31円    | 32円  |
|              |                    | ドライカッパ   | 1,229円     | 1,266円       | 1,205円  | 1,241円 |      |
|              | 第2群の伝送方式のもの        | ラインシェア   | NTTスプリッタ利用 | 707円         | 736円    | 704円   | 734円 |
|              |                    | リング      | 上記以外       | 629円         | 676円    | 628円   | 675円 |
|              |                    | ドライカッパ   | 1,826円     | 1,909円       | 1,802円  | 1,884円 |      |
| ISM折返し接続機能   |                    | 128kb/s  | 390円       | 397円         | 385円    | 392円   |      |
|              |                    | 1.5Mb/s  | 7,122円     | 7,421円       | 7,048円  | 7,342円 |      |
| 加入者光ファイバ     |                    | 4,695円   | 4,695円     | 4,603円       | 4,603円  |        |      |
| シェアドアクセス     | 局外スプリッタを含み1芯で伝送(東) | 5,099円   | —          | 5,020円       | —       |        |      |
| 主端末回線        | 局外8分岐(西)           | —        | 5,066円     | —            | 4,987円  |        |      |
|              | 局外4分岐(西)           | —        | 4,973円     | —            | 4,894円  |        |      |
| 固定無線基地局回線(西) |                    | —        | 16,027円    | —            | 15,935円 |        |      |

#### （2）公衆電話機能

| 区分           | 単位    | タイプ1-2料金 |         | タイプ1-1(旧1)料金 |         |
|--------------|-------|----------|---------|--------------|---------|
|              |       | 東日本      | 西日本     | 東日本          | 西日本     |
| 公衆電話発信機能     | 1秒ごとに | 0.4273円  | 0.3999円 | 0.4193円      | 0.3924円 |
| デジタル公衆電話発信機能 | 1秒ごとに | 0.3995円  | 0.4545円 | 0.3918円      | 0.4459円 |

## (3) 通信路設定伝送機能 (主なもの)

(1回線ごと月額)

| 区 分                |                             |            |            | タイプ1-2料金 |          | タイプ1-1(旧1)料金 |          |
|--------------------|-----------------------------|------------|------------|----------|----------|--------------|----------|
|                    |                             |            |            | 東日本      | 西日本      | 東日本          | 西日本      |
| 通信路設定<br>伝送機能(基本料) | 高速デジタル伝送に係るもの(エコノミークラス)     | 64kb/s     | 単位料金区域内の場合 | 4,831円   | 5,498円   | 4,742円       | 5,400円   |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 5,384円   | 6,029円   | 5,285円       | 5,922円   |
|                    |                             | 128kb/s    | 単位料金区域内の場合 | 6,408円   | 7,163円   | 6,288円       | 7,032円   |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 7,518円   | 8,226円   | 7,374円       | 8,076円   |
|                    |                             | 1.536Mb/s  | 単位料金区域内の場合 | 38,529円  | 39,894円  | 37,780円      | 39,120円  |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 51,820円  | 52,671円  | 50,812円      | 51,648円  |
|                    | 6.144Mb/s                   | 単位料金区域内の場合 | 77,959円    | 86,837円  | 76,437円  | 85,143円      |          |
|                    |                             | 上記以外の場合    | 109,601円   | 112,695円 | 107,460円 | 110,496円     |          |
|                    | 第1種ATM専用<br>に係るもの(エコノミークラス) | 6Mb/s      | 単位料金区域内の場合 | 105,514円 | 105,714円 | 103,451円     | 103,650円 |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 121,140円 | 118,486円 | 118,771円     | 116,170円 |
|                    |                             | 50Mb/s     | 単位料金区域内の場合 | 267,927円 | 217,465円 | 262,679円     | 213,210円 |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 337,856円 | 273,975円 | 331,236円     | 268,611円 |
|                    |                             | 134.7Mb/s  | 単位料金区域内の場合 | 358,441円 | 278,105円 | 351,419円     | 272,661円 |
|                    |                             |            | 上記以外の場合    | 458,449円 | 358,239円 | 449,467円     | 351,224円 |

### Ⅲ 接続料算定の概要

料金算定にあたっては、現行接続料に適用されている全日・全時間帯保守メニュー（タイプ2）の料金算定に用いた保守換算係数算出上の故障修理時間の平成16年度実績データを基に、全日・昼間帯（タイプ1-2）の料金を算定。

#### (1) 接続料の設定

○総平均故障修理時間と区分毎の平均故障修理時間の比

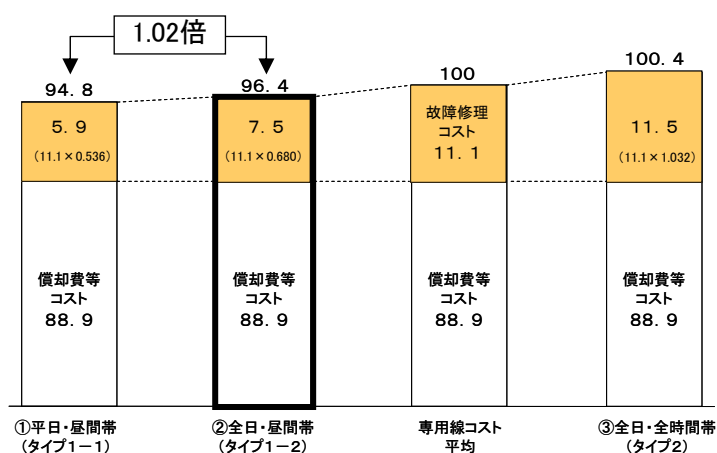
| 区 分                  | 東日本   | 西日本   |
|----------------------|-------|-------|
| 1. 平日・昼間帯(タイプ1-1)    | 0.536 | 0.468 |
| 2. 全日・全時間帯(タイプ2)     | 1.032 | 1.048 |
| 3. (再)全日・昼間帯(タイプ1-2) | 0.680 | 0.603 |
| 平均                   | 1.000 | 1.000 |

#### ○接続料の算定

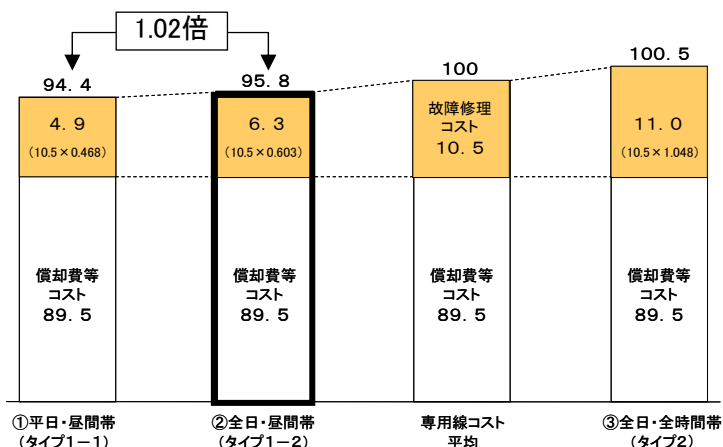
専用線コストのうち、総平均コストに占める故障修理コストの占める割合と上記の保守タイプ別平均故障修理時間に係る比率から保守換算係数を算出

タイプ1-2の保守換算係数………=1.02(②/①)

(NTT東日本)



(NTT西日本)



## (2) 接続料の適用

### ① 従来のメニューにタイプ1-2を追加するもの

- ・ PHS基地局回線機能(平成18年度LRIC料金)
- ・ 専用線端末回線機能(デジタルアクセス、ATM専用に係る端末回線のみ)
- ・ 通信路設定伝送機能(デジタルアクセス、ATM専用に係る通信路設定伝送機能のみ)
- ・ DSL接続機能(ドライカッパ、ラインシェアリング※)
- ・ ISM折返し接続機能
- ・ 加入者光ファイバ
- ・ シェアドアクセス主端末回線部分
- ・ 固定無線基地局回線(西日本)

※ 加入電話サービスの保守メニューと同一の保守メニューが、重畳する本サービスについても適用される。

### ② 現行料金をタイプ1-2に基づく料金に移行するもの※

- ・ 公衆電話機能(公衆電話発信機能、デジタル公衆電話発信機能)

※ 公衆電話サービスが全てタイプ1-1からタイプ1-2に移行するため、付随する当該機能についても同様に移行

## (3) 精算方法

- 平成18年度においてはタイプ1-2の故障修理時間に基づく実績データがないことから、平成16年度のタイプ2の実績データから算出した保守換算係数(1.02)に基づく接続料を適用する。
- 平成19年度においては、タイプ1-2提供開始後の故障修理時間の実績データを反映した保守換算係数を算出し、従来の保守換算係数との差分による差額については、平成18年10月のサービス開始時点に遡って全額精算を行う(それ以外の部分については原則どおり。)

## (4) 適用開始時期

平成18年10月1日